



水島事業所における 再生可能エネルギーの導入

エコアクション21

知識ゼロからのスタートで
二酸化炭素排出量99%削減
「脱炭素チャレンジカップ2023」
環境大臣賞グランプリ等を受賞！
※ハトメ工業株式会社

NEXT STEP

「万物には魂が宿る」
街づくりに貢献する
温かいリサイクル

平林金属株式会社

TOPICS

「環境学習プラザアスエコ」
リニューアルオープンから
1周年を迎えました！

自然いっぱい！ イベントいっぱい！

自然保護センターへ
来てみられよう！

環境学習プラザ アスエコに行こう！

特別展示のお知らせ
おうちでできる！
冬のワンポイントエコ

特別展示のお知らせ

2024年12月5日(木)～
2025年4月27日(日)

脱炭素大作戦！ 「段ボール迷路deクイズに挑戦」

「脱炭素ってなんだろう？」今、必要とされている脱炭素について、楽しく学べる特別展示を開催しています。環境にまつわるクイズを解きながら進む段ボール迷路で、楽しみながら脱炭素の大切さを学びます。

保護者様には、断熱や省エネに役立つ展示にて、リフォーム・新築どちらの家づくりにおいても参考になるアイデアを紹介。

今、みんなに必要な「脱炭素」についての知識。持続可能に暮らしていくために、家族みんなで楽しく学びましょう。

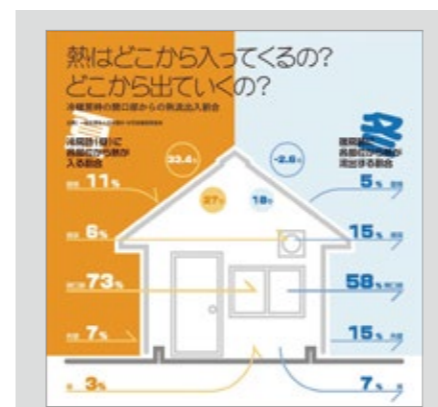


クイズも楽しめる
段ボール迷路もあるよ！

環境学習プラザ
アスエコに行こう！



おうちでできる！冬のワンポイントエコ



出典)一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会 / 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト(<https://www.jccca.org/>)より

1 窓から熱を逃さない工夫をしよう

家の中で一番熱が逃げってしまう場所である「窓」。冬の断熱対策はまず窓から始めよう。ホームセンターなどで売っている断熱シートや窓サッシの隙間防止テープを貼ったり、厚手のカーテンをつけたりして、部屋の暖かい空気を外に逃さない工夫をしてみよう！

2 加湿器で体感温度アップ！

加湿器で湿度をプラスすることで、同じ温度でも体感温度が上がります。冬の乾燥も防げてエアコンの設定温度も下げられるので、ぜひ活用してみよう。

3 扇風機を活用して空気を循環させよう

暖房効果を上げるには、暖かい空気を循環させることが重要。暖かい空気は上昇してしまうので、扇風機やサーキュレーターを天井に向けて動かすことで、空気がまわり部屋が暖まります。夏のイメージがある扇風機ですが、実は冬も活躍！

公益財団法人 岡山県環境保全事業団 環境学習プラザ「アスエコ」

〒700-0907 岡山市北区下石井1丁目2番1号 イオンモール岡山6F

営業時間 / 10:00～19:00 (火曜日休館)

<問い合わせ先> ☎ 086-230-1333 企画展示、イベントに関すること等



👉 気になった内容をシェアしよう！

#アスエコ #脱炭素大作戦 #ワンポイントエコ #おうちの断熱

環境 読者 アンケート

あなたの声をお聞かせください！

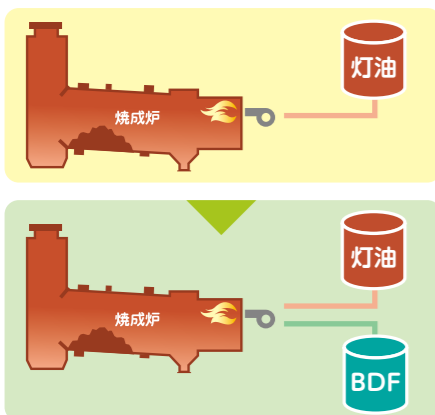
情報誌「環境」の誌面内容のアンケートを実施しています。「環境」は、読者の皆様にとって学びとなり、楽しんでいただける誌面づくりを目指しています。誌面向上のためにも、ぜひあなたのご意見をお聞かせください。

【ご回答の流れ】2次元コードを読み取る→フォームで回答



「岡山県環境保全事業団としてのカーボンニュートラルの取組」の一環として、燃料の一部をBDFへ転換、太陽光発電システムを導入しました。

廃棄物処理に使用する燃料の一部をBDFへ転換



みずしま資源再生センターでは、二酸化炭素排出量を削減するため、廃棄物処理に使用する灯油の一部を、BDFへ転換しています。灯油をBDFへ1キロリットル転換することで、約2.5トンの二酸化炭素排出量を削減することができます。

BDFとは 菜種など植物由来の油から作られるバイオディーゼル燃料のこと。原料が植物であるため再生可能なエネルギーのひとつとされている。

みずしま資源再生センターとは

水島事業所の中にあるみずしま資源再生センターは、これまで埋立処分又は県外でリサイクルされていた焼却灰等を無害化し、土木資材などに再生する施設です。県内で安定的にリサイクルすることによって、廃棄物の遠距離運搬に伴う環境負荷の軽減や埋立処分場の延命化にもつながります。

PPA (電力販売契約) を活用した、太陽光発電システムの導入

PPAモデルを活用し、水島事業所内の埋立処分場の跡地に、パネル容量約1.2メガワットの太陽光発電システムを導入しました。太陽光発電システムの導入にあたり、設置場所が海に面していることから、塩害を考慮した機器の選定と、充実したメンテナンスを行う計画にしています。発電設備から発電される電力を購入し、水島事業所で消費する電力の一部として使用。年間で約600トンの二酸化炭素排出量を削減しています。さらに電力会社からの購入電力量も減り、電気料金の削減もできています。

PPAとは 企業や自治体が保有する建物の屋根や土地に発電事業者が再エネ発電設備を設置し、発電した電気を企業・自治体が見合う契約形態のこと。

こんな施設や設備があります！

水島事業所の紹介

水島事業所では、廃棄物の受入から処理処分まで一貫した体制で廃棄物の適正処理を行っています。



埋立処分場(第2処分場)
2009年から埋立を開始。適正かつ安全な埋立事業を行っています。



水島クリーンセンター
下水汚泥と廃プラスチック類等を混焼し、廃棄物の減量化と廃熱を利用した発電を行っています。



みずしま資源再生センター
焼却灰を安定処理し、土木資材などに再生する施設です。



倉敷市資源選別所
倉敷市が整備し、倉敷市の家庭から排出された空きびん・蛍光灯を資源として再利用するための施設です。

今後の動きについて

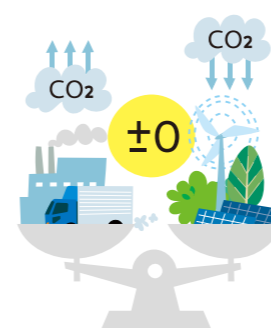
岡山県環境保全事業団では今後も、さらにカーボンニュートラル実現に向けて取り組んでいきます。

気になった内容をシェアしよう！

#BDF #PPA #CN #再生可能エネルギー

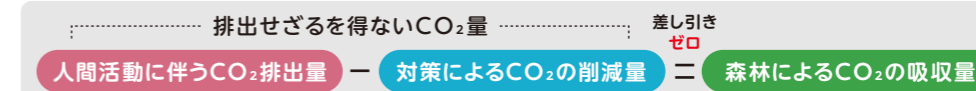
水島事業所における再生可能エネルギーの導入

カーボンニュートラルの実現へ向け、再生可能エネルギーの活用が注目されています。化石燃料の代替品として期待されるBDF(バイオディーゼル燃料)の使用や、事業所内の太陽光発電システムで発電された電力の利用を開始した岡山県環境保全事業団水島事業所における取組を紹介します。



近年、世界規模での平均気温の上昇が問題になっています。その主な原因は、産業革命以降から続く、二酸化炭素排出量の急増とされています。このままの状況が続けば、気候変動による豪雨や猛暑、森林火災等の気象災害リスクが高まると予想されています。2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を国全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

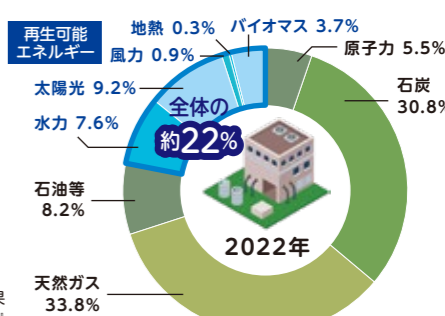
カーボンニュートラルとは 温室効果ガスの「排出量」から森林などによる「吸収量」を差し引き、合計を実質的にゼロにすること。



日本のカーボンニュートラルの現状



再生可能エネルギーとは、太陽光や風力、地熱、バイオマスなどのエネルギー源として永続的に利用可能なものと定義されています。しかし、2022年度における日本での再生可能エネルギーの電源構成比は約22%と、まだまだ増えていないのが現状です。そこで政府では、2030年度に再生可能エネルギー電源構成比率を36%~38%に増やすという目標を掲げています。

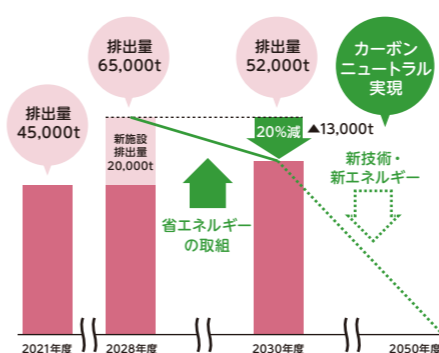


出典：資源エネルギー庁「集計結果又は推計結果(総合エネルギー統計)「時系列表」」

カーボンニュートラル実現に向けた岡山県環境保全事業団の取組

岡山県環境保全事業団では廃棄物処理や環境調査、環境教育などの環境関連事業に取り組んでいます。「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて、2021年8月にプロジェクトチームを結成しました。部門ごとの専門性を活かして、カーボンニュートラルを取り巻く状況や先進技術について調査・検討を行い、2050年を見据えたロードマップを策定し、目標達成への取組に着手しています。

ロードマップ



取組イメージ

主なGHGとその由来		2023年度~2030年度	2050年度
エネルギー起源CO ₂	電気	太陽光発電の導入	エネルギー転換検討
	灯油	脱炭素電気の導入	次世代エネルギーの活用検討
	ガソリン	BDFの導入	水素燃料・アンモニア燃料等
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却(廃プラ等)	電気自動車の導入	RPF, RDFの活用
	一酸化二窒素(N ₂ O)	新たな廃棄物処理方法の調査・検討	新たな廃棄物処理方法の導入
		算定方法の見直し	

知識ゼロからのスタートで
二酸化炭素排出量99%削減
「脱炭素チャレンジカップ2023」
環境大臣賞グランプリ等を受賞！

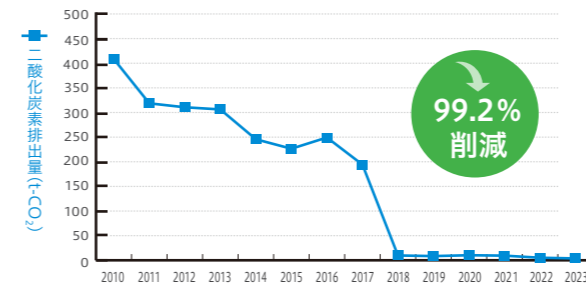


環境活動についての社内勉強会等実施。社員全員で取り組んだ結果、数々の賞を受賞。



お話を聞きしたのは
来ハトメ工業株式会社
管理部 課長
ISO9001 管理責任者
EA21 環境管理責任者
いしはら たかなり
石原 隆雅 さん

▶ 二酸化炭素排出量の実績



「EA21に取り組んだきっかけを教えてください。」
2008年頃、取引先である大手企業から環境マネジメントシステムの取得を要請されたのがきっかけです。ISO14001の認証を検討したのですが、費用面や労力面から取得を悩んでいたところ、EA21はISO14001に比べ費用が断然安く、中小企業も取り組みやすいので、EA21認証に向けた取り組みを開始しました。
「EA21の取り組みについてどのようなメリットを感じていますか？」
社員一人ひとりの成長に繋がったことがメリットだと思っています。EA21の取り組みでは、社員全員参加での活動を求められるため、電力担当や古紙担当など責任者を割り振りました。そして活動に取り組んだ結果、社員に責任者としての自覚が

芽生え、環境活動だけではなく本業においても、自分の意見や改善案を出す組織風土になりました。また、EA21の取り組みを継続した結果、2023年度には取組開始前(2010年)と比べて、約99.2%の二酸化炭素排出量削減ができました。「脱炭素チャレンジカップ2023」において環境大臣賞グランプリを受賞し、全国からの講演依頼も増え、会社の知名度向上にも繋がっています。
「EA21への取り組み開始当初、石原さんご自身が環境に対する知識がゼロだったと伺いましたが、取り組みを続けられる原動力は何だと考えられますか？」
環境活動を通じ、自身の知識が増えることやさまざまな賞に挑戦し続けることが、モチベーションの維持に繋がったと思っています。EA21登録審査時、審査員からたくさんの指摘をいただき、自身の環境に対する知識不足を痛感しました。そこから法規制についても一から学習を始め、社員全員で知識を共有する社内環境教育に取り組んできました。着実に実績を積み重ね、EA21認証取得3年目には、社内での活動も取り上げた環境活動レ

来ハトメ工業株式会社

所在地 〒340-0822 埼玉県八潮市大瀬203-1

従業員数 33名 認証・登録日 2010年9月

1946年からアルミに特化した金属プレス加工業を営む。脱炭素やSDGsなど環境活動にも積極的に取り組む。

【エコアクション21】環境省が策定したガイドラインに基づいて環境経営のためのしくみを構築・運用している事業者を認証し登録する制度です。



【エコアクション21 地域事務局岡山県環境保全事業団】
〒701-0212 岡山市南区内尾665-1 Tel 086-298-1239 Fax 086-298-2496
Mail ea21@kankyo.or.jp http://www.kankyo.or.jp
Facebook https://www.facebook.com/eoaction21/

「これからEA21に
取り組む企業にメッセージを。」
環境経営に取り組むにあたりEA21を検討しているのであれば、まずは審査を受けてみることをお勧めします。審査書類を揃えるだけでも、会社の現状を分析でき、そこから課題や目指すところが見えてきます。私もそうでしたが、取り組み始めるときは本当に大変だと思います。また、EA21認証後、さらなる賞への挑戦やセミナー受講などを通じて、社外の方との交流が増えることも楽しさの一つになるのではないかと思います。

次の世代に続く
エコロジーカーな活動

NEXT STEP

「万物には魂が宿る」
街づくりに貢献する
温かいリサイクル

平林金属株式会社
代表取締役社長
経営企画部 広報課 課長
サークキュラーエコノミー推進課

平林 実さん
山本 有二さん
花房 茉奈美さん



創業時から培ってきた「もったいない」「ありがたい」の精神で、挑戦と革新を続けるのは1956年創業の平林金属株式会社。現在は、総合リサイクル業として自動車や家電、産業機器や建物などをリサイクルし、再生資源を素材メーカーに供給しています。その取り組みが評価され、環境大臣賞や経済産業大臣賞など数々の賞を受賞。代表取締役社長の平林社長、広報課長の山本さん、サーキュラーエコノミー推進課の花房さんにお話を伺いました。

資源化するえこ便。岡山県と鳥取県で合計5店舗を運営する全国初の有人型資源集積システムです。近年、違法な不用品回収業者が増加し、不法投棄や環境汚染の原因になっています。有人型の理由は、法令順守のためでもあります。正しい情報を人から人へ積極的に伝えるためでもあります。平林社長は「えこ便は、自社の本業であるリサイクルで日本一のサービスを提供し、岡山をいい街だと思ってもらいたい」との思いから始めた事業です。ありがたいことに多くのお客さまに来店いただいています」と話されます。正しいリサイクルの情報発信と地域貢献を両立させるえこ便で

は、回収品目を追加したり、会員カードをアプリ化するなど、より便利な店舗をめざして日々進化しています。
「次世代への挑戦
サーキュラーエコノミー」
タイガー魔法瓶株式会社(以下、タイガー社)は持続可能な社会の実現のために「使用済みステンレス製ボトルの回収と再資源化」の取り組みをスタートさせました。平林金属もパートナー企業として当プロジェクトに参画しています。タイガー社は回収ボックスを全国に設置されており、回収したボトルの全てが平林金属に搬入されます。それらはトレーサビリティを確保するため、製品や原材料などの製造の過程を追跡できるように、他の廃棄物と分別した上で破砕します。その後、リサイクル加工されたステンレスはステンレスメーカーへ、単一素材に選別されたプラスチック(ポリプロピレン)は、樹脂製品メーカーを経てタイガー社にて利用されます。

高い技術力と情報発信力
平林金属の技術開発部門では、高純度なリサイクルを実現するため研究を重ね、新たな技術を生み出しています。これまで積み上げてきたリサイクル技術のノウハウは、同業者にも惜しみなく提供するそうです。平林社長は「わたしたちリサイクルが力を合わせることで、高純度リサイクルを実現可能な企業が増え、省資源循環型社会システム構築の一助となれば」と話されます。

10年前はわずかだった自社ホームページのアクセス数は、現在では1日平均3000〜4000にも増えています。毎日ブログを更新し続けているえこ便のホームページは、土日になると約2000もアクセスがあります。広報を担当される山本さんは「自社の社員は、回収されたものを資源の宝だと思って働いているんです。ネガティブな印象を持たれることが多いリサイクルに関する社会のイメージアップに貢献したいと思っています」と強い想いを語ってくださいました。最後に平林社長は「万物には魂が宿ると言います。再生資源に、次のステージでも頑張れよ」と魂を込めて見送っています。これからも温かいリサイクルを続けていきたいです」と決意を述べられました。

街づくりに貢献する「えこ便」
家庭で不用になった小型家電や金属類、古紙などを回収し再



えこ便
「スマートな資源回収」で街づくりに貢献したことが評価され、2016年度グッドデザイン賞を受賞。

花房さんは「タイガー社からは、金属だけでなく樹脂も選別

また、リサイクル業界では珍しく、広報にも力を入れています。



HIRAKINマガジン
パンフレットにもイノベーションを。社長と会社の想いが凝縮されています。

平林金属株式会社

〒700-0973
岡山県岡山市北区下中野347-104
https://www.hirakin.co.jp/



冬の観察会案内

時間 10:00～12:00(9:50集合)
 集合場所 センター棟他
 参加方法 要予約 / どなたでも参加OK
 季節のさまざまな生きものを観察する、「自然観察会」を開催!

自然保護センターへ 来てみられえ～

1月～3月のセンターで見られる自然を見つけに行こう!

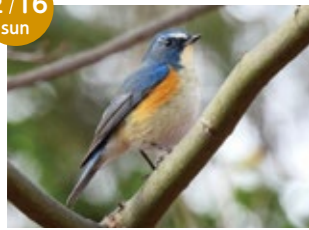
1/26
sun



越冬昆虫大発見

虫たちはどのように冬を過ごしているんだろう?石や樹木などの下を探しまくろう!

2/16
sun



冬鳥観察会

ヨシガモやジョウビタキ、ルリビタキなど定番のほか、アトリやキクイタダキも見られたらいいな。※雨天中止

2/23
sun



タンチョウ餌やり体験&記念撮影

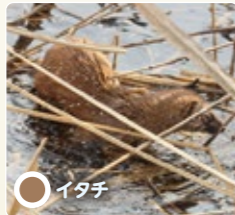
特別天然記念物のタンチョウについて学んだ後、餌やり体験をします。タンチョウと一緒に写真も撮れるよ。

3/2
sun



フィールドサインを探せ

痕跡でわかる動物の名前。普段見ることの出来ない動物たちのサインを見逃すな!



イタチ



アセビ



アオジ



ウグイス



フキ



マンサク



エナガ



コスミレ



ジョウビタキ



ハイタカ



テングチョウ



キクイタダキ



ヒカサキ

イベントレポート

「インセクトセイバーVS悪の皇帝～セイタカアワダチソウで立ち向かえ!～」を開催しました!

2024年9月21日(土)～11月17日(日)の期間、イベント「インセクトセイバーVS悪の皇帝～セイタカアワダチソウで立ち向かえ!～」を開催しました。自然保護センターでは「日本の侵略的外来種ワースト100」に指定されている「セイタカアワダチソウ」が増殖しています。このままでは他の植物を好む昆虫たちが棲みづらい環境になってしまいます。そこで皆さんの力をお借りして「セイタカアワダチソウ」を駆除していただくというイベントを開催しました。自然を守る正義の味方「インセクトセイバー」となって、たくさんの「セイタカアワダチソウ」を、参加者の皆様が駆除してくれました。これからも自然保護センターを外来種から守っていきます。



その他イベント情報はWEBをチェック!

岡山県自然保護センター
<https://okayama-shizenhogo-c.jp/>



岡山県自然保護センター

☎0869-88-1190 〒709-0524 和気郡和気町田賀730
 休所日/毎週火曜日及び祝日の翌日、年末年始
 開所時間/9:00～16:30 入場料/無料

気になった内容をシェアしよう!

#岡山県自然保護センター #冬の自然 #冬の生きもの #冬の観察会

紹介! 話題のエコ知識

TOPICS

環境学習プラザ「アスエコ」

リニューアルオープンから 1周年を迎えました!



アスエコ リニューアルオープン後 1年間のあゆみ

環境学習プラザ「アスエコ」は、地球環境の大切さを子どもから大人まで楽しく学べる施設です。昨年5月にイオンモール岡山へ移転し、今年1周年を迎えました。ご家族連れからご年配の方まで多くの方が来てくださっています。

2024年10月27日に入館者10万人を達成しました!

触って学べる デジタル地球儀スフィア

地球の過去、現在、未来の統計データやリアルタイムの観測データを映し出す最新型デジタル地球儀。時代を超えて、環境問題についてより深く知るきっかけになります。



体験者の声

「スフィアを見た時、宇宙飛行士の気持ちになりました。ひとつしかない地球を大切にしたいです」

スペシャルイベント

土日や夏休みなどに、ものづくりや実験などの参加体験型のイベントを開催しています。施設以外での自然観察イベントも開催。



参加者の声

「今日のイベントでセミにさわられるようになった!」「セミと地球温暖化を繋げて考えることは今までになく、本当に良い機会でした(保護者)」

特別展示

環境をテーマにした企画展を実施。年間で「SDGs×妖怪展」「未来の食料展」「アスエコ水族館」などを開催しました!



体験者の声

「妖怪展示では SDGs達成に向けての行動が大切だと学ぶことができた」「岡山県に261種類ものお魚がいることに驚いた」

常設展示

環境に配慮したマークについて、探検ビンゴで楽しく学べます。今後、岡山県立大学とコラボして、12月中にさらにアップデート予定!



体験者の声

はじめは環境マークを知らなかった子どもたちも、体験後は80%が「マークをみて買い物したくなる」と回答

これからのアスエコ 山田所長より



現在の社会は、大量生産・大量消費・大量廃棄が進み、地球環境への負荷が増えています。持続可能な社会を築くためにも、アスエコに来て学んだ方々には、環境に配慮した商品を選ぶ「賢い消費者」になってほしいと考えています。

商品を選ぶ際、素材や二酸化炭素排出量、社会貢献に注目した商品を選ぶことが重要です。そうすることで社会全体でモノの健全かつ持続可能な循環が生まれることを目指しています。

アスエコは、展示やイベントを通じて楽しく学べる場を提供するだけでなく、環境問題への気づきや、「心が動く体験」を届けています。心が動いた時、人は行動が変わると私は考えています。これからもアスエコを通じて、環境について考え、行動するきっかけを提供していきます。

環境学習プラザ「アスエコ」

〒700-0907 岡山市北区下石井1丁目2番1号 イオンモール岡山6F ☎086-230-1333

展示やイベント情報などはこちら

アスエコ



気になった内容をシェアしよう!

#アスエコ #リニューアルオープン1周年 #賢い消費者 #環境マーク